

# 情報公開用文書(附属病院で実施する医学系研究)

西暦 2017 年 1 月 31 日作成

<b>研究課題名</b>	神経内分泌細胞腫瘍における局所免疫機構の役割と免疫関連薬の治療効果に関する臨床病理学的検討
<b>研究の対象</b>	外科的切除あるいは、生検を施行され、神経内分泌腫瘍と診断された症例を対象とする。
<b>研究の目的</b>	既存の腫瘍の病理学的検体の残余検体を用いて、PD1, PD-L1, CCR4, IDO, CTLA-4, MSI 関連蛋白などの免疫関連蛋白の発現が、リンパ球 (CTLs, Treg)、樹状細胞、マクロファージおよび神経内分泌腫瘍細胞でどの程度発現しているか、手術検体を用いて病理組織学的に評価を行う。これら免疫染色の結果と臨床病理学的因子との関係性を評価するとともに、新規の免疫関連薬の有用性について検討する。
<b>研究の概要</b>	膵・消化管原発神経内分泌細胞腫瘍および精査にて原発不明であった神経内分泌腫瘍患者における局所免疫状態を確認する目的で、PD1, PD-L1, CCR4, IDO, CTLA-4, MSI 関連蛋白などの免疫関連蛋白の発現状況と、リンパ球のサブタイプとの関係性に関して調べ、神経内分泌腫瘍の局所における腫瘍免疫の関与を確認するとともに、免疫チェックポイント阻害薬の治療効果の基礎となるデータを集積することを目的とする。
<b>研究の方法</b>	局所免疫能は切除標本の腫瘍部・境界部の薄切を作成し、PD1, PD-L1, CCR4, IDO, CTLA-4, MSI など免疫関連蛋白の発現を、リンパ球のサブタイプ (CTLs, Treg)、樹状細胞、マクロファージおよび神経内分泌腫瘍細胞での発現割合を病理組織学的に評価し、臨床病理学的因子との関連に関して確認する。
<b>研究期間</b>	2017 年 4 月 27 日 ~ 5 年間 (2022 年 4 月 26 日)
<b>個人情報保護に関する配慮</b>	研究事務局に限り、カルテ閲覧のために対応表を用いて、連結可能匿名化した施設符号化番号から対象患者のカルテ番号を用いることがあるが、調査データの管理や機密保護について配慮する。研究期間終了後は元データを完全に削除する。
<p>本研究のために、患者さんにあらたな負担や危険が生じることはありません。患者さんもしくはご家族の方等がこの研究へのご参加を希望されない場合は、以下の連絡先までご連絡いただけましたら、その方の残余保管されている、病理組織は本研究に利用しないようにいたします。本研究への参加をお断りになられたとしても、不利益になることは一切ございません。</p>	
<p><b>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</b></p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9</p> <p>横浜市立大学附属病院 臨床腫瘍科 <b>担当者の名前 小林 規俊</b></p> <p>電話番号：045-787-2800 (代表) FAX：045-787-2623</p>	